

1 総社市の概要

1 総社市の概要

総社市は、岡山県の南西部に位置し、市の中心部を岡山県の三大河川のひとつ高梁川が南流している。東部は岡山市、南部は倉敷市の県下の2大都市に隣接、西部は井原市及び矢掛町に、北部は高梁市及び吉備中央町に接している。年平均気温は16.5℃前後、雨量は年間1,000mm前後で、瀬戸内海特有の温暖、少雨に恵まれた気候である。

旧総社市は、昭和29年3月に総社町と周辺6村が合併し市制を施行した。当時の人口は36,968人、面積128.37km²であった。その後、昭和47年4月に吉備郡昭和町を編入。旧総社市は平成17年3月21日に閉市し、翌22日に旧総社市・山手村・清音村が新設合併し、新「総社市」が誕生した。現在の人口は約70,000人、面積211.90km²である。

本市は、かつての古代吉備の国の中心として栄えた地域であり、縄文以前から人々が生活していた形跡が見られる。古墳時代には吉備の中心地として栄えたことをうかがわせる数多くの古墳が残されている。

飛鳥・奈良時代には、備中の国府も置かれ、国分寺、国分尼寺も配置され、備中の国の政治・経済・文化の中心地として栄えた。平安時代には備中国内の神々を合祀した総社宮が建てられた。総社市の名称はこれに由来している。

鎌倉時代以降は、地方政治の町から山陽道や高梁川の水運を生かした門前町、宿場町的性格に様変わりするとともに、豊かな農村地域としても発展した。江戸時代には、岡山藩や足守藩など複数の藩領や幕府領など複雑な統治形態となっていた。

高度成長期の昭和40年代頃からは、県南工業地帯の発展に伴い、宅地開発が進むとともに、自動車産業を中心とした内陸工業も発展している。近年では、歴史に培われた吉備文化と高梁川の恵みをはじめとする豊かな自然環境を背景に、住宅都市・学園都市としての発展を見せている。さらに、岡山空港や高速道路、市内に7つの駅がある鉄道などの広域交通網の充実や、岡山市、倉敷市に隣接しており地理的条件に優れていることから、物流や製造業による企業進出が相継ぎ、経済的発展が著しい。

● 総社市民憲章 ●

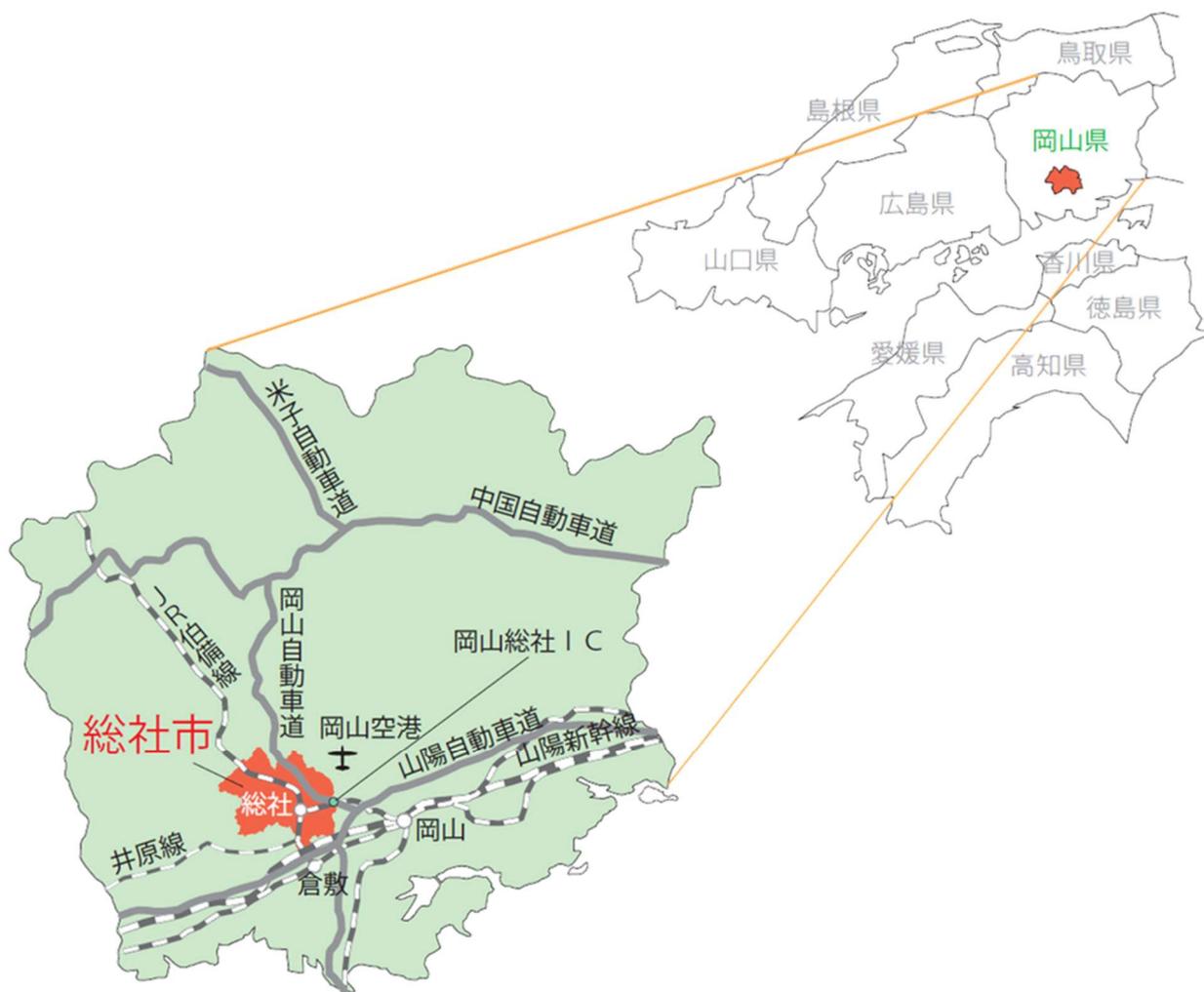
わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に 美しい環境を まもりましょう。
- 1 生涯学び 明るい家庭を きずきましょう。
- 1 たがいに助け合い あたたかいまちを つくりましょう。

(平成18年3月22日制定)



2 総社市の位置



位置 … 東経 133° 44′ 57″ 北緯 34° 40′ 10″

面積 … 211.9 km² [東西 20.3 km、南北 17.3 km]

人口 … 69,582 人 [男 33,851 人、女 35,731 人]

世帯数 … 29,454 世帯

(令和 5 年 5 月末日現在)

市制施行 平成 17 年 3 月 22 日

2 教育委員会

1 教育委員

教育長
久山 延司



教育長職務代理者
三宅 眞砂子



委員
大山 敬子



委員
児島 塊太郎



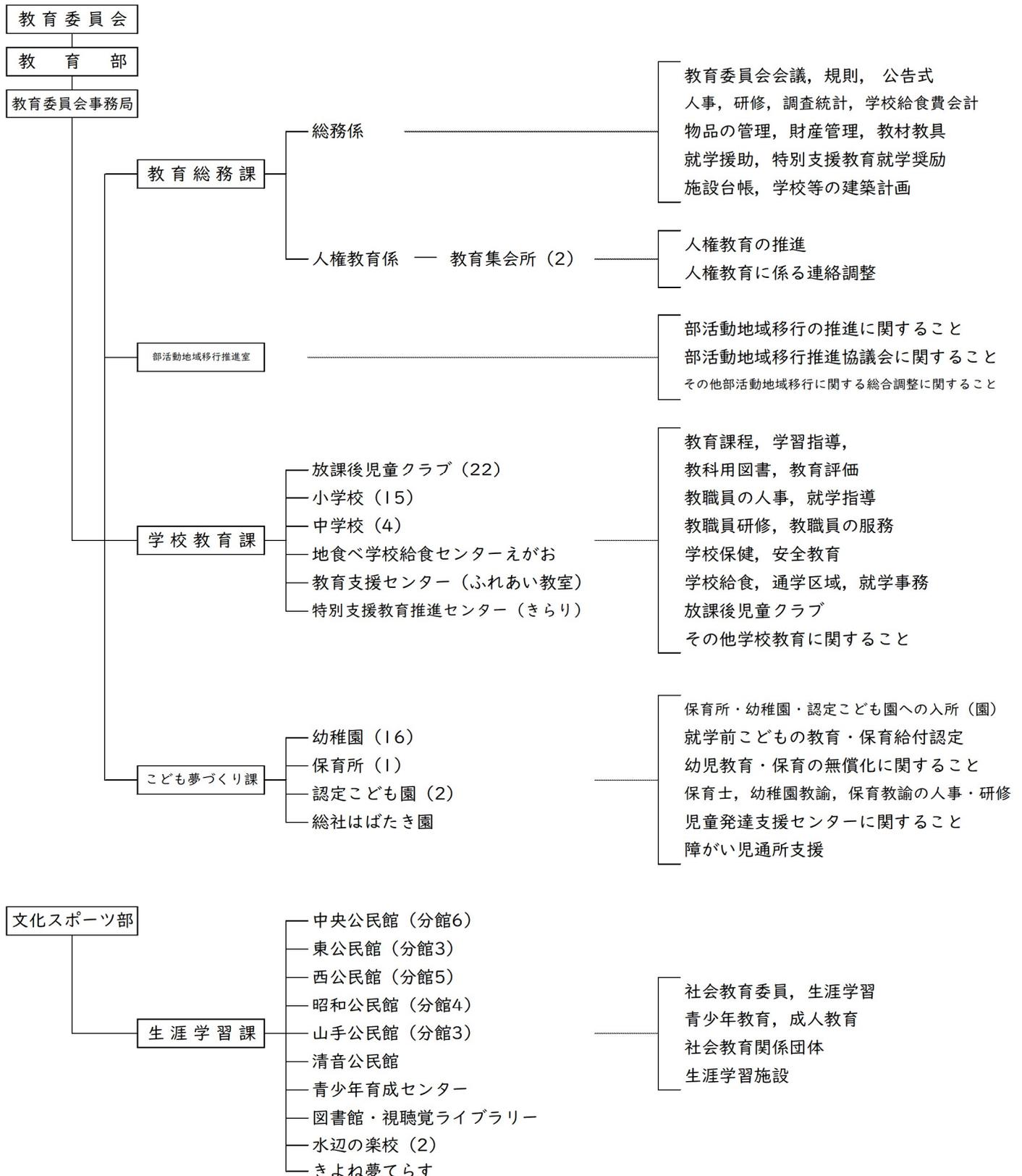
委員
剣持 江利奈



役職名	氏名	任期
教育長	久山 延司	令和 5年5月12日 ~ 令和8年5月11日
教育長職務代理者	三宅眞砂子	令和 5年5月12日 ~ 令和9年5月11日
委員	児島塊太郎	令和 4年5月12日 ~ 令和8年5月11日
委員	大山 敬子	令和 2年5月12日 ~ 令和6年5月11日
委員	剣持江利奈	令和 2年5月12日 ~ 令和6年5月11日



2 機構と事務分掌



3 教育関係の予算

令和5年度の教育関係の予算

令和5年度を「人口7万人再挑戦の年」と位置づけ、新庁舎建設や「そうじゃグランドデザイン」を推進するため道路整備事業に取り組むほか、「子育て王国そうじゃ」をさらに充実させ、人口減少地域への施策に取り組んでいくため、令和5年度の一般会計当初予算は、前年度と比べて1億7,000万円（0.6%）増額の、総額304億2,000万円で編成された。

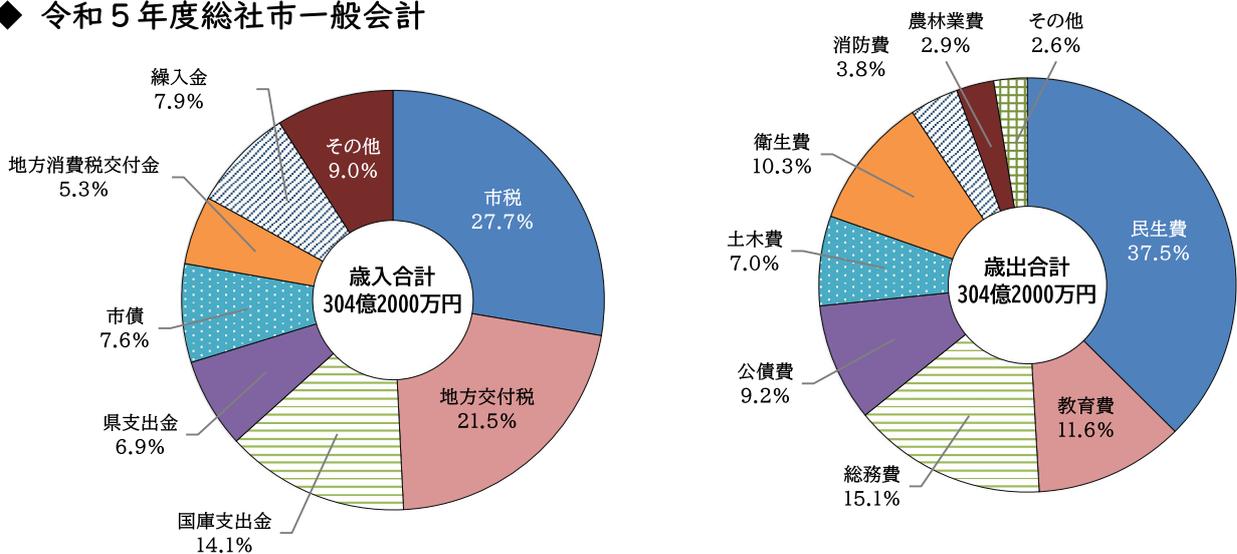
このような中、教育費については、そうじゃ教育大綱の「総社を愛す子供」「心優しい子供」「礼儀正しい子供」を具現化するため、人材育成、教育施設の整備・拡充、生涯学習の推進などを重点に予算を編成し、35億1,377万円（※教育委員会から事務移管したスポーツ、文化・芸術及び文化財関係費を含む。）が計上（前年度比1億9,443万円増）されている。一般会計304億2,000万円に対しては、11.6%の割合を占めている。

主な事業としては、幼稚園の魅力向上などのため、市内の全幼稚園で給食を実施する幼稚園給食実施事業、義務教育学校の開校に伴う義務教育学校準備事業、発達障害等の特別な教育的ニーズがある児童生徒が、自立し社会参加の資質を担うことを目的とした情緒障害通級指導教室推進事業、中学校部活動の地域移行を推進する地域部活推進事業、様々な事情から十分な教育が受けられないまま中学校を卒業した方などを対象とするまなびなおし教室事業等がある。

また、民生費のうち、教育委員会所管の事務に係る予算については、32億6,546万円で、一般会計304億2,000万円に対し、7.64%の割合を占めている。

主な事業としては、待機児童の解消を図るための保育士等確保策の実施や幼稚園における預かり保育の充実、私立保育所等への運営委託事業、障がい児の通所支援事業、児童発達支援センターの施設整備・運営委託事業、放課後児童クラブの運営委託事業など、働く親が安心して働き続けられるよう支援するとともに、就学前教育の充実を図る。

◆ 令和5年度総社市一般会計



※教育費には、教育委員会から事務移管したスポーツ、文化・芸術及び文化財関係費を含む。

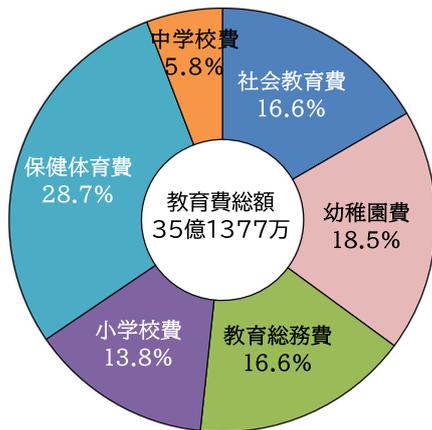
◆ 令和5年度の教育費（当初）

（単位：千円）

項目	予算額	性質別内訳							
		人件費	物件費	維持補修費	扶助費	補助費等	建設事業費		
							補助	単独	合計
教育総務費	581,996	430,588	95,953			54,855		600	600
小学校費	485,623	66,887	305,778	60,000	51,645	1,313			0
中学校費	202,744	22,828	103,549	16,400	53,550	6,417			0
幼稚園費	650,772	578,849	45,025	10,240	15,769	889			0
社会教育費	582,719	314,766	202,429	18,951		36,197	10,376		10,376
保健体育費	1,009,914	183,815	742,536	65,000		13,063		5,500	5,500
合計	3,513,768	1,597,733	1,495,270	170,591	120,964	112,734	10,376	6,100	16,476

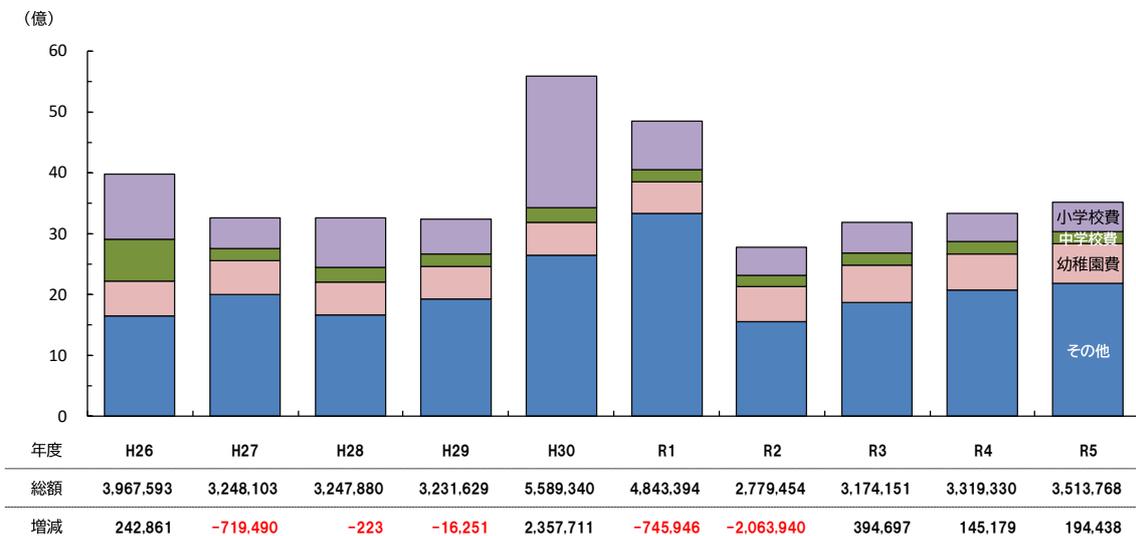
※教育費には、教育委員会から事務移管した スポーツ、文化・芸術及び文化財関係費を含む。

教育費の構成割合



※教育費には、教育委員会から事務移管した
スポーツ、文化・芸術及び文化財関係費を含む。

◆教育費の推移



（単位：千円）

※教育費には、教育委員会から事務移管したスポーツ、文化・芸術及び文化財関係費を含む。

4 教育振興基本計画



雨上がりの畑で、泥の感触を楽しむ園児たち

総社市教育振興基本計画

総社市教育委員会が進める事業の基本方針となるのが、教育振興基本計画である。本市においては、平成27年4月に「そうじゃ教育大綱」を策定し、目指す子供像を「総社を愛す子供」「心優しい子供」「礼儀正しい子供」とした。

この総社市が目指す子供像を具現化するため、第3次総社市教育振興計画（令和5年度から令和9年度まで）では、今後5年間に取り組む教育分野全般にわたっての具体的な取組や目標を定めた。

※スポーツ、文化・芸術分野については、平成31年4月1日から事務移管している。

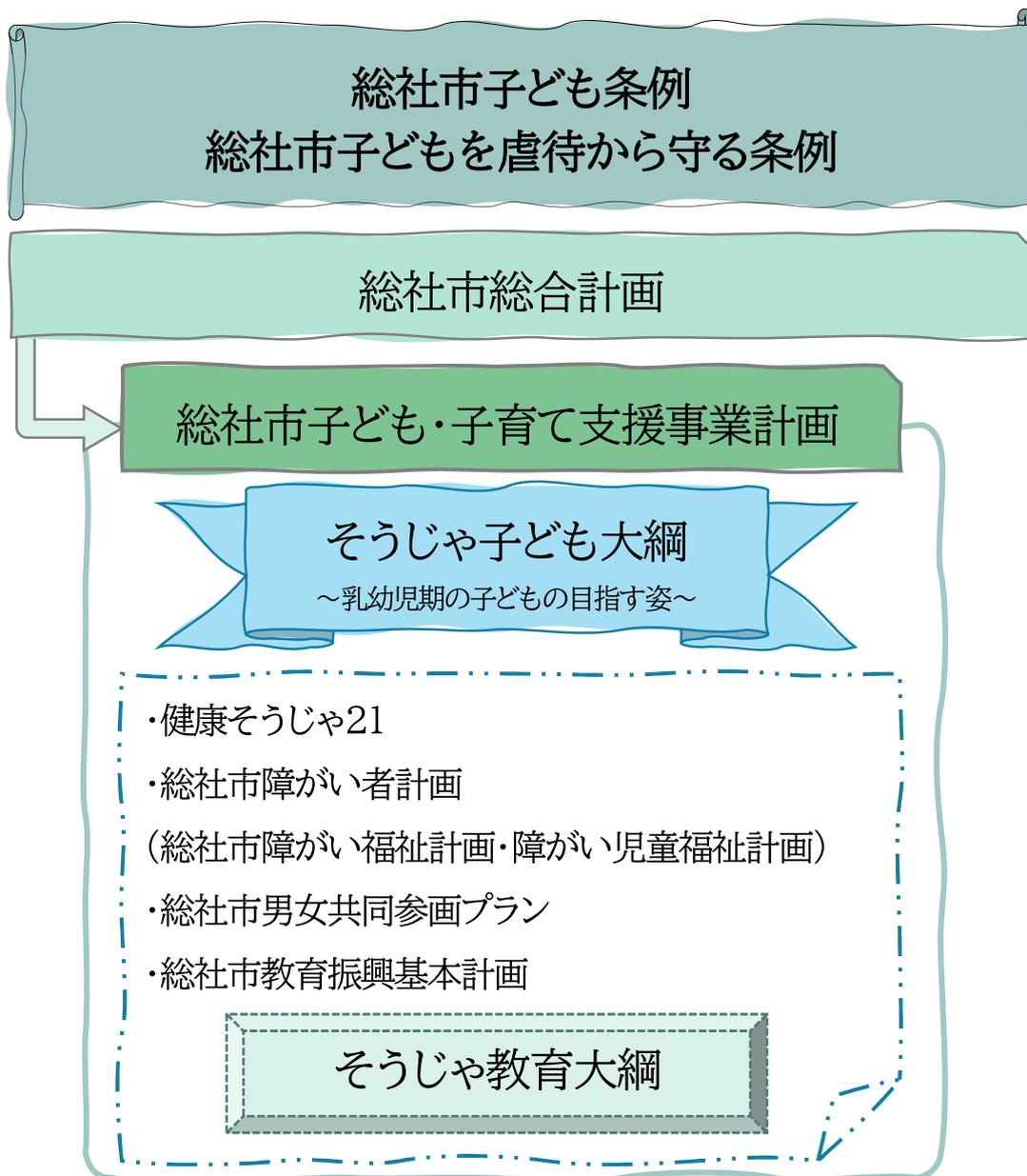
5 子ども・子育て支援事業計画

令和2年3月策定の「第2期総社市子ども・子育て支援事業計画※」では、心の教育に重きを置く「そうじゃ教育大綱」につながる「そうじゃ子ども大綱」を基本理念として掲げた。

※子ども・子育て支援事業計画

5年間の計画期間における幼児期の学校教育・保育・地域の子ども・子育て支援についての需要計画をいい、新制度の実施主体として、特別区を含めた全市町村が作成することになる。(子ども・子育て支援法第61条)

1 計画の位置づけ



子ども
大綱



そうじゃが
だいすきなこども

ともだちを
たいせつにするこども

げんきに
あそぶこども

総社市長 片岡 隆一

